



C型肝炎の最新治療

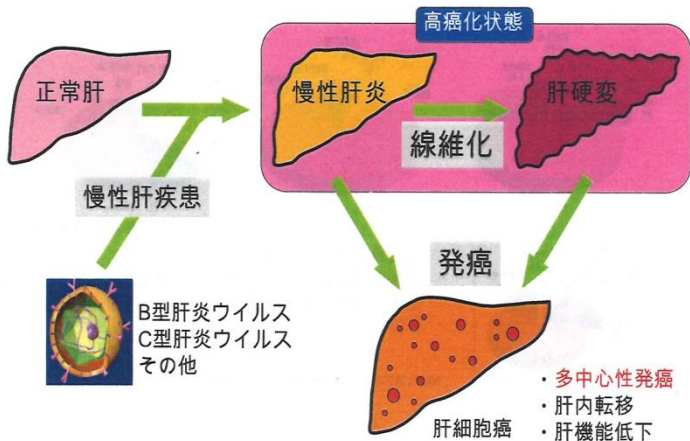


産業医 田名 毅
(首里城下町クリニック)

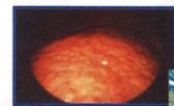
産業医だよりは、当院における地域むけ医療講演会の内容を抜粋してお伝えしています。今月は「C型肝炎の最新治療」というタイトルで、琉大附属病院第一内科 肝疾患相談室 前城達次 先生にご講演いただきました。前半は肝臓病と生活習慣について、後半はC型肝炎についてでした。ご講演の内容を以下に紹介します。

1、肝がんは慢性の肝臓病の人に起こる

肝臓は沈黙の臓器といわれ、慢性肝炎になっても気づかずに進行していきます。線維化が進み肝硬変になると発がんリスクは高まります。がん細胞を取り除いたとしても、一度がん化するとまた別の細胞ががん化するモグラたたきのような現象が起こってしまいます。



正常肝



肝硬変

肝生検

肝臓の細胞を注射器でとり線維化の部分年青で染色しています。肝硬変では線維化が顕著です。

2、肝臓の線維化がなぜ問題か

肝臓の働き

- ①蛋白質の産生
- ②黄疸や意識障害を引き起こす物質の代謝
- ③消化管からの細菌・毒素の侵入阻止
- ④その他

肝臓の線維化が進むと肝臓の働きが悪くなる

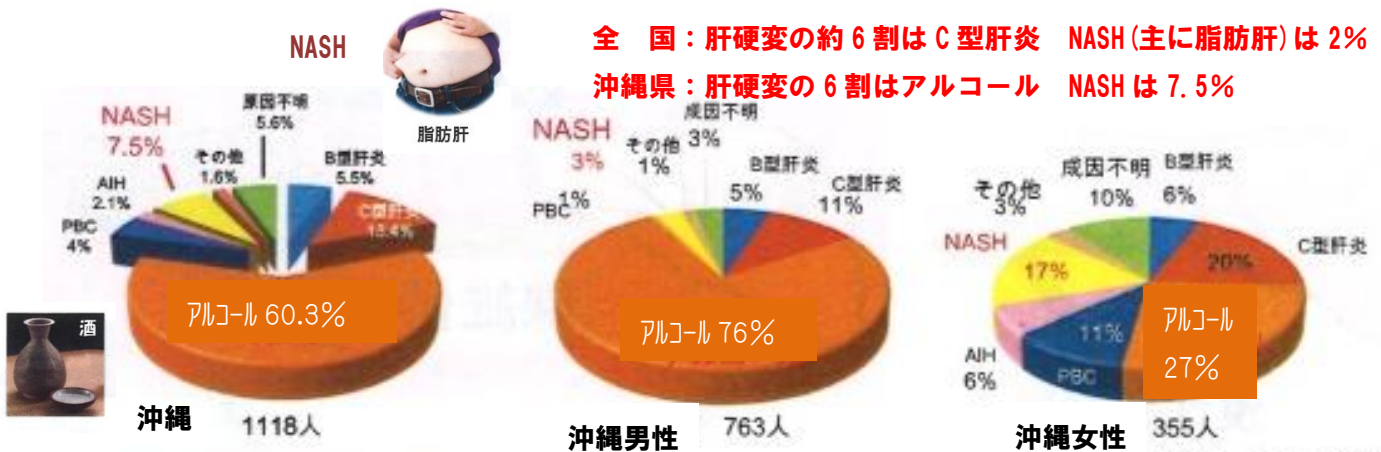
- ①低蛋白血症でむくみや腹水
- ②高アンモニア血症で肝性脳症による意識障害
- ③感染症にかかりやすくなる

他、肝硬変により出現する病態として

- ・食道胃静脈瘤⇒消化管出血 出血性ショック
- ・肝肺症候群 ⇒呼吸困難
- ・肝腎症候群 ⇒腎不全 など これらの病態が発生すると、益々肝臓の働きが低下し入退院を繰り返す。

悪循環となり多臓器不全に陥り肝臓がんの危険性が高くなるのが最大の問題です。

3. 肝臓の話では外せない 沖縄県の肝硬変 他府県との違い！



【沖縄の肝臓病における問題点】

- ・生活習慣病からの肝硬変・肝癌が多い
 - ・飲酒による肝硬変・肝癌が多い 特に若年で死亡する例も稀ではない
- 他の調査より
- ・飲酒頻度は全国と大差はないが 1 回の飲酒量 沖縄は多い
 - ・飲み始める年齢が早く 依存になる率が高い →生活習慣の改善を望む
- * 身近な方に伝えてほしいと強調されていました。

4. ウイルス性肝炎

ウイルス性肝炎の分類

感染経路	肝炎の種類	慢性化	備考
経口感染	A型肝炎	なし	冬から春にかけて散発的発生 海外渡航時(とくに東南アジア)にはワクチン接種を 生牡蠣、二枚貝と関連
	E型肝炎	なし	輸入感染のみならず国内の野生動物(猪、鹿、豚)の生肉で感染
血液感染	B型肝炎	あり	持続感染者(キャリア)が存在 母子感染予防対策(1986年より) ワクチン 2016年10月から小児定期接種へ
	C型肝炎	あり	持続感染者(キャリア)が存在 輸血による感染、肝がんの原因で最多
	D型肝炎	あり	HBV感染者に重複感染 わが国では感染者はごく少数

熊田博光著 専門医がやさしく教える肝臓病(PHP研究所)2007 一部改変

6. C 型慢性肝炎の治療

【インターフェロンを基本とした治療】

- ・長い治療期間(24-72週間)
 - ・副作用が強い(発熱、脱毛、うつ状態、体重減少 etc.)
 - ・毎週病院通い
 - ・治療成績も満足できるものではない。
- インターフェロン治療は第一選択にはならない

【飲み薬のみの治療法】

- ・短い治療期間(12-24週間)
 - ・少ない副作用
 - ・高齢者でも可能
 - ・高い治療効果
- 今後の第一選択

5. C 型慢性肝炎

C 型慢性肝炎は、日本で 150~200 万人の罹患者がおりその半数は 65 歳以上です。目立った症状はないまま肝硬変や肝がんに行進することがあります。日常生活で C 型慢性肝炎は感染することはなく、麻薬や古い医療行為での注射器の回し使い等で感染していたことが分かってきました。今はこのような医療行為は禁止されているので近い将来 C 型慢性肝炎はなくなる病気の一つと考えています。症状がないまま持続感染者(キャリア)となりうる B 型肝炎と併せて**一生に一度は早めに検査を受け**、罹患している場合は、肝硬変や肝癌に行進させない治療が必要です。

近年 C 型慢性肝炎の治療は、以前の副作用の強いインターフェロンではなく、副作用が少なく高い治療効果が期待できる飲み薬が開発され、肝炎の治療は格段に進歩し早期に適切な治療を受ければ完治する確率が高くなってきています。高額な薬価ではありますが、医療費助成制度も進んでいます。

まとめとして、沖縄県民特有の生活習慣病からくる肝臓病について身近な方に伝え予防すること。肝炎に関しては早期発見・早期最新治療を。また、肝疾患に関する情報提供を琉大病院 肝疾患相談室 ホームページで行っています。と締めくくられました。



第 160 回 首里城下町クリニック 『地域むけ医療講演会』

日 時: 平成 28 年 10 月 12 日(水) 19:00~20:30

テーマ: 最近の眼科のトピックス

~レーシックから白内障手術まで~

外間眼科医院崇元寺 外間 英之 先生

その他クリニックに関しては HP をご覧ください <http://www.shuri-jc.jp>

首里城下町クリニック 『働く人健康支援室』 は、



産業医・内科医
高血圧が専門です
田名 毅

ストレスチェックで 高ストレス者と判定された方
結果をご説明します。お気軽に面談を!

あなたの **相談窓口** です!



保健師・産業カウンセラー
認定産業看護師 田名彩子

相談窓口

産業医は、あなたの職場とそこで働く人々の心とからだの健康を支援します。

- ★訪問日を設けている事業所の職員は、お気軽に訪問日をご活用下さい。
- ★クリニック内の『働く人健康支援室』では健康相談を行っています。
事前にお電話の上、いらしてください。
- ★クリニック内で産業医との面談は診療の合間となりますが可能です。
事前にお電話くださり働く人健康支援室で“産業医との面談”とお声掛けください。診察や検査の必要がない限りは無料です。
- ★その他、電話やメール相談も随時行っています。

暫く
産休・育児休暇に
入ります!



保健師・産業カウンセラー
キャリアカウンセラー
與儀雅代



看護師・衛生管理者
糖尿病療養指導士 新垣朋子



認定産業看護師
山城愛子



連絡先

首里城下町クリニック 働く人健康支援室
098-885-5000
携帯 070-5814-0065 (由名彩子)
メール saiko@biscuit.ocn.ne.jp

プライバシーは守ります。
お気軽にご利用下さい!